ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2016年9月1日
9月号・第176号

奈良・人と自然の会

会長　鈴木　末一

夏季研修会・草津水生植物公園

Contents

ホームページでは、カラーで見ることが出来ます
URL http://www.naranature.com

壮春力歩	1		やさしい病害虫講座	11
多士済々	2		青垣春秋	12
Monthly Repo.ならやま	3		俳句百景	13
里山の今	4・5・6		ならやまプロジェクト	14
「鳥」シリーズ＆10月研修旅行予告	7		行事案内	15
7月・GGプロジェクト・報告	8		行事案内　＆行事予告	16
7月・歴文研修会・報告	9		幹事会報告・編集後記	17
8月・月例研修会・報告	10			

壮春力歩

会長　鈴　木　末　一

ならやまで見かける虫たちが、季節の移り代わりを教えてくれる頃となってまいりました。

記念事業の内、記念誌の編纂につきましては、関係機関や団体の皆様方並びに会員諸氏からの玉稿も、ほぼ順調にお寄せいただいております。お一人お一人のお声をお聞かせいただき有り難うございました。ご入会された時期により、「ならやま里山林」への見方も少しずつ違いがあるやに感じられます。しかし、「生物多様性豊かな里山林」「市民にとっての癒しの空間」を、との基本的なスタンスは共有されていると確信いたしております。そして、関係諸機関のご祝辞を拝読いたしましたところ、今日までの取り組みに対する賛辞と共に、中長期にわたる今後への期待感溢れるお言葉を賜っております。委員の皆様方で作業分担をし、次の段階へと進めていただくことになります。

次に記念事業関係につきましては、記念事業委員会と幹事会でご協議いただきました結果、概要としまして、次のようになりました。

① 記念レセプション並びに記念新春講演会
② 里山グループ：記念植樹・A地区部分皆伐地隣接地整備。
③ エコファームグループ：オリジナルの案山子制作・趣向を凝らした芋煮会。
④ 景観グループ：花壇及び階段整備。
⑤ 月例研修会：一泊研修会。
⑥ 歴史文化クラブ：一泊研修会（平成29年5月予定）。
⑦ その他：趣向を凝らした新蕎麦祭 etc.

グループリーダー及び担当チーフを中心に、アイデアを出し合っていただき、節目の記念の年に相応しいメモリアルなものに創り上げていただけるものと、大いに期待をしております。常々申し上げておりますように、皆様方お一人お一人が主役でありますので、よろしくお願い申し上げます。

リオ五輪から学ぶこと・・・・・

連日、日本選手団の活躍に昼夜を問わずテレビに釘付けになっています。勝者敗者のいずれの立場であっても、インタビューに応える選手達に共通している言葉があります。「チームメイトへの感謝、家族への感謝、そして自分自身に」。失望感や挫折感に襲われて、競技生活にピリオドをと、幾度となく考えたことがありましたが、その度に思い留まることができたのは、やはりチームメイトや家族の励ましの言葉であった、という。

頂点まであと一歩のところで敗者となった時、敗者復活戦までの僅かな時間内で、如何にしてモチベーションを高めることができるかが、キーポイントとなります。自己コントロール力でしょうか。偉大なアスリートの名言に「最強の敵、それは自分自身だ」という言葉があります。ローマ、東京大会とマラソンで2連覇の偉業を成し遂げられたエチオピアの裸足のランナー・アベベさんの言葉です。この名言は何千回ともなく口にしてきました。

選手団の大活躍する姿に、今までは野球やサッカーなどにややもすれば集中していた競技人口も変化していくように思われます。子ども達にとって選択肢がぐーんと広がったのではないでしょうか。次代を担う子ども達が、自己実現の場を求めるのに、選択肢が多くなることは望ましいことでもあります。

言い尽くされた言葉ですが、「文武両道」とよく言われます。生きる力「知・徳・体」をバランス良く育てることが大切です。

「自然に学び、自然とともに生きる力を育む」ことを目標として、「知・徳・体」全ての要素を含む総合学習の場として是非取り上げたいのは、自然との共生体験ではないかと思います。そのような観点から、ならやまでの「公開イベント」も価値ある総合学習の場として挙げることができます。自然の中で、四季を体感しながら生まれる豊かな人間性、社会性、友情、自然への慈しみを育てることができるのではないでしょうか。

クライマーの心意気

中井　弘 さん

顧問　川井 秀夫

一昨年転宅され、最近帰りの路線バスでよくお会いします。車中で雑談しますが特にラグビーの話題に花が咲いて親近感を憶えております。現在まだ中国とのビジネスに時間を割かれ多事多忙のご様子ですが、国際感覚を身に着けダンデイで温厚なお人柄に好感を得ております。

シニア１６期を修了後直ちに「いこま棚田クラブ」に参画されましたが、青木幸子さんの勧めで平成２５年当会にも籍を置かれ、里山Ｇのメンバーとして「伐倒のコツが解りましたョ」「鋸の捌きが身についた」と自信に満ちた山作業に､その存在感が大きく見えてくるようです。また、歴文クラブの事務局スタッフとして、自己啓発を兼ね著書の蒐集、資料の構成など核メンバーの役割を担って頂いております。

日程が許せば、例研行事・イベント行事・のらの会・カラオケ鶯の会など、酒談義の場にも必ずこの方の顔があり参加意識の自発性に感服しております。

ご出身は大阪　境川。長じて大手商社の繊維部門で台湾・中国を含む多くの海外経験を積まれた由。

仕事の合間には山岳登攀に傾倒、日本山岳会・山徒倶楽部・奈良岳志会など、ご本人の手記、会誌を拝見するとアマレベルを超えた内外の登山歴が印されており、敬服致しました。

特筆すべきは、登山で得た教訓**「困難と危険」**を座右の銘として大事にされておられます。

フランスのクライマー、ジャン・コストが、**「困難は克服できるが、危険は避けねばならない。しかし、危険は自らの技量の向上で困難に変えうる」**と。

これが私の仕事上で、また人生観として、大きな支えになっていると、熱く述懐されておられます。

ラグビーの肉体のぶつかり合う格闘技から得た精神、微動だにしない大自然の山塊に挑む試練、鋼鉄に勝る精神力を大切に人生の障壁を越えて行きたいと共感を覚えます。

最後にこの方のご趣味を一つ。「日本風景写真協会」の一員として渓谷美の写真に数々の作品を残されています。再々、展示会で鑑賞致しますが、ハッと驚く被写体をお見掛けし、高度な技術と危険な足場の労作として感動しております。

好漢、中井さん　お互い歳を考えて危険を困難に変える術を心掛けたいものですな・・。「自行利他」「one　for　all」を人生の糧として、益々のご活躍を念じております。

Monthly Repo.　ならやま

八木　順一

7月21日（木）　活動　晴れ　68名＋2名

梅雨明けとともに、イベントの時期を迎える。そのため、準備や打ち合わせで朝から大忙し。打ち合わせも、イベントを中心に回っている。何とか無事に終わって欲しいものだ。だが、夏本番を迎え、これ以外にも収穫や環境整備は勿論のこと、日々の活動にも手が抜けない。里山Gは自然工作物の補充のほか、枯れ木の処理、エコGも野菜の収穫、そして景観Gも第五地区のひまわりの処理等が追いかけてくる。また、ビオ班もイベントに向けて池の整備、花班は花の水遣り、そしてパト班はコース巡回をかねての観察路補修と目が回りそうである。シニア実習生2名及び近大生1名来訪。

7月23日（土）イベント晴れ 44名＋72名＋3名

夏休み第1回目のイベント。活動日日和になり、午前中のカレー準備や飯盒炊さん、午後の昆虫採集、水中生物観察、そして自然工作と順調に活動も進む。また、危惧された大きな怪我もなく、3時過ぎにはカブトムシや折り紙のお土産をもらって参加者も満面の笑みで帰路に就く。ただ、しかし活動の内容や取り組み方などにも課題も見えてきた。

7月28日（木）　活動　晴れ　62名＋1名

涼風も時々感じられたが、暑い気候の中での活動になり、体力の消耗も激しい。打ち合せではイベントの報告や来週の協働作業についての連絡が主なものだった。里山Gは枯れ木の処理、エコGは畑の追い肥やり、そして景観Gは草刈りに励む。また、ビオ班は水生生物調査、花班は畑の除草、そしてパト班はイベントのコース巡回に出る。2回目のイベントの打合せが行われる。シニア実習生1名来訪。

8月4日（木）　活動　晴れ　62名

協働作業日。部分皆伐地区の下草刈りと清掃作業の2班に分かれての作業になった。その後、野菜や花類の草取り・水やりに取り組んだGもあった。

打ち合わせでは協働作業の段取り、夏休み2回目のイベントの連絡、その他駐車場階段の補修の連絡や協力要請等があった。ただ、こちらのほうは、時間不足のため、完成は次週に持ち越される。イベント実施に向けて打ち合わせが行われた。

8月11日（木）活動　晴れ　58名＋3名＋1名

猛烈な暑さがならやまを襲っている。畑の野菜や花が水が欲しい、水が欲しいと叫んでいる。このため水遣り作業も大変だが、2回目のイベントも確実に近づいており、その準備も大変。当日の散策路の点検や自然工作の準備のほか、打ち合わせも度々もたれる。また、駐車場の修理も行われた。無事に終わって欲しいものだ。午後には案山子作りがエコGを中心に行われる。楽しい時間になった。シニア3名、近大生1名来訪。

8月18日（木）　活動　晴れ　68名＋6名

エコG作成の案山子が見守る中での活動になった。それにしても暑い。イベントの打ち合わせや準備、その他第五地区の整備等で各Gとも大忙し。加えて、秋に向けての野菜の準備や畑の整地にも手が抜けない。打ち合わせでは倉庫の施錠の確認の件や本日の来訪者の6名のGの紹介が中心となった。また、駐車場の修理が見事に完成した他、午後エコGが案山子作りに取り組む。15周年記念事業の最後までならやまを見守ることとなる。

里山グループだより

里山の今

エコファームだより

森　英雄

平成22年をピークに減少していたナラ枯れが昨年急に増加に転じ、特に大阪・兵庫・奈良ではナラ枯死木量が前年比約3.5倍（大阪府の枯死木量は全国最大）に急増しました。

しかも今夏になると、私の通勤（？）経路で見ても、地元の王寺の明神山麓から信貴山や平群で、矢田丘陵では法隆寺裏山から松尾山麓、矢田山付近、また子供の森・近畿大学などの北部に行くに従って激しいナラ枯れがおこっております。生駒山も被害にあっています。まさに昨年までとは比較にならない激しさでナラ枯れがおこっているようです。

振り返ってわが里山林を見ますと、昨年はならやま“自然林”は激しくやられ、ならやま“里山林”もかなりやられましたが、今年は、未だなら山“里山林”のナラ枯死木は数本しか見つかっていません。多分今夏はこれ以上増えないのではないかと思っています（ホンマかなあ～）。

平成22年に東大寺裏でナラ枯れが見つかり、23年から奈良県・森林技術センター・森林総研様の協力を得てナラ枯れ調査・ナラ枯れ対策を始め、『早期発見・早期除去』の方針で5年以上をかけてやってきましたが、その事がならやま“里山林”のナラ枯れ拡大を防ぐのに役立ったのではないかと考えております。

そうであるならば、これからは里山整備の狙いである“健康で永続的な森をつくる”と言う方向に重点を置いて整備を進めていくチャンスではないかと思います。

今まで以上に丁寧な里山メンテナンスの他に、全員で肩肘を張らずにアイデアを出し合って、(例えば「山桜の谷」「工作材料の森」等々）楽しく森づくりをやっていく時が来たのではないかと思っております。

（その前に…、ナラ枯死木がこれ以上増えないことを切に切に願ってはいますが……（笑）　）

岸谷和代

ギラギラ照りつける真夏の太陽の下、女性陣は、日焼けを気にしながら、男性陣は、暑さなどものともせず、野菜の収穫・田畑の手入れに精を出しています。ほのぼの市には、今日もツヤツヤ・ピカピカの元気な野菜が並びます。燦々と降り注ぐ太陽の恵みをしっかり浴び吸収して育った夏野菜は、ビタミン・ミネラルがたっぷり。栄養価も高く食物繊維に富み生活習慣病を予防し、免疫力を上げるという優れものです。

代表格の茄子には、ポリフェノールの一種アントシアニン系の色素である「ナスニン」が多く含まれ強い抗酸化作用があり、血栓が出来るのを防ぎ、コレステロールを下げ、眼精疲労にも効果があると言われています。又「王様の野菜」と言われるモロヘイヤには、栄養素がてんこもり。

夏バテ解消に毎日の食卓にとり入れましょう。

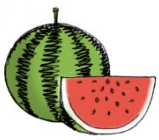
ならやまの野菜作りのモットーは、「無農薬」「有機栽培」プラス愛情。自家製ハウスの中で一粒の種が芽をだし、手塩にかけられ野菜苗へと成長していく。

しかし、移植・定植と段々と厳しい自然環境にさらされます。螻蛄（けら）に茎を切られた茄子・ウリハムシの集中攻撃に参ったかぼちゃ・何度挑戦してもダメだった枝豆・・・なかなか自然は、手強い。空からは、カラスも狙っています。

しかし、野菜達の生命力もすごい！負けていません。今、沢山の実りで精一杯応えてくれています。

「今年こそ」の思いが実り、皆さんを笑顔いっぱいにしてくれたスイカ達。40個を超す実をつけ、味・見栄えとも合格点をいただき、ホッと安堵するリーダーの笑顔が印象に残った。

畑では、もう秋・冬野菜の準備が始まり、１５周年記念イベントの「かかし」作りも進行形。実りの秋の見守り役は、お任せ。
どんなかかし達が登場するか皆様おたのしみに！！



景観グループだより

永井幸次

★夏場の景観整備

幹事会で、Ｓさんから駐車場西横でジュズダマを栽培して工作に使おうと思っていたのに刈り取られてしまったとの話がありました。ジュズダマはイネ科の植物の一種なのですが、草刈隊にはただの雑草に見受けられるので、ただ囲っておくだけではなく、名前と用途を書いておくべきだと感じました。

夏の景観整備は蕎麦畑の整備に始まります。その前に植えてあるヒマワリはほとんどの方に見てもらえぬまま刈り取られてしまいます。出来れば刈り取る前に観賞会でもあればと思います。

草刈隊には蕎麦クラブの方が多いので蕎麦のことになると力の入り様が違い、いつもなら草を刈るだけですが、今回は耕運機が入るので刈り取った草をかき集め、石拾いをします。

八月初めは一斉作業日、北側部分皆伐地区の下草刈りを里山グループと一緒に行いました。ただの草だけではなく背丈ほどの笹薮、気温は３５度以上の酷暑という環境の中での作業、いつも黙々と作業する草刈隊もこのような状況では３０分も作業を続けることが出来ないのが現状でした。

蕎麦畑はいつもの作業では種まきに間に合わないので、蕎麦クラブ、景観整備の方に早朝出勤のメールがあり７時からの作業になり、残りの草刈り、堆肥まきは堆肥を運んで、まんべんなく畑に広げていきます。

里山の今

パトロール班だより

小島武雄

ならやまの夏イベント、「ワクワク！ドキドキ！里山で遊ぼう！」の午後の里山探検では、ならやま自然観察路を巡るゲームや自然遊びです。

夏の午後は里山林の中とはいえ､大変暑いため、普段歩きで３０分程度に、ゲームポイントは６カ所、いつもの昆虫クイズ、松ぼっくりの玉入れなどを楽しみました。小羊歯のぴょんは小さく切った枝を指でピョンと飛ばす遊びで、４歳ぐらいの子は一生懸命小さな指で何度も押さえているのですが、うまくいきません。お土産に小枝をもらってお家で練習です。葉っぱの福笑いは、写真のように可愛く素敵です。森のかくれんぼ、年輪遊びなどは、遊びの定番になっています。

また子ども達の歩く観察路周辺は、ウルシ等の危険なものは事前に刈り取り安全な道に、普段こんな木漏れ日の中、落ち葉やチップのふかふかの道を登り下りすることは無いようで、本当にワクワク、ドキドキ、各ポイントでは思いっきり元気に楽しんでくれました。各ポイントの後にポケモンシールを貰いカードに貼り付けるのもとても嬉しそうです。

ならやま虫だより

菊川年明

里山の今

ならやま花だより

桜木晴代

◆ササキリ

ササキリはキリギリスの仲間で、体長は１５mm内外､翅端までの長さは２０mm内外である。このグループの種〈昆虫〉としては小型で、ずんぐりタイプである。緑色型と褐色型があるが、褐色型はごく希である。

８月から現れて１０月頃まで、主にササやイネ科植物の草むらにいる｡鳴き声は｢シリシリシリ｣とも｢ジリジリジリ｣とも聞こえる連続音である。かなりおっとりしているので、目に止まることは少なくない。

幼虫はユニークな姿をしており、顔の表情も剽軽である。この幼虫からは、とても成虫の姿は想像できない｡食草は幼虫･成虫ともに主にイネ科の植物である。

キリギリスの仲間には、ササキリのほかにカヤキリ、ヤブキリなど「キリ」のつくものが数種類あるが、この「キリ」はキリギリスの一部の「キリ」である。ササキリは、ササの中にいることが多いキリギリス類ということに由来する名前であろう。

ササキリの近縁種には○○ササキリと名のつくものが数種類いる。ハネナガササキリ、ホシササキリ、オナガササキリ、ウスイロササキリ、コバネササキリなどである。いずれも小型であるが、体形は概して細長く、スリムである。

←
ササキリ成虫

同幼虫
↓

柏原から平城山までの大和路線の車窓からは四季折々の風景が楽しめます。しかしこの季節になると気になるのは、森や河原の木々の多くがクズの葉でおおわれていることです。クズの蔓の威力は凄まじく、年々勢力を増しているように思われます。時にはクズに覆われた樹が枯れてしまうこともあるとか。

クズはアメリカでは外来植物とされ、クズで覆われた森はその姿からモンスターと呼ばれているそうです。

でもこのクズはご存知のように本葛の原料として貴重な存在です。本葛は高価ですが製造工程の手間暇を知れば、そのお値段もうなずけます。

クズの花の独特の匂いは芳香と表現されていますが、苦手な人もいるのでは。ならやま周辺でもたくさんのクズに出会います。一度匂いを嗅いでみてください。

マメ科
- **ひと夏で10m伸びる**
- **葛の名は産地の国栖に由来**
- **別名裏見草**
- **葛根は漢方薬に**
- **蔓は布や民芸品に利用**

葉っぱは自然教室の校庭観察会のポイントの一つとなることもあります。主に「クズの葉っぱでじゃんけん」として登場します。クズの葉をよく見ると、グー・チョキ・パーそれぞれの形をしているのです。子どもたちが指でなく３種の葉でじゃんけんを楽しむ遊びです。

万葉集には２１首もの葛の歌が詠まれているそうです。その中から２首を。

萩の花尾花葛花なでしこの花
　　をみなえしまた藤袴朝顔の花

ま葛延ふ夏野の繁くかく恋ひば
　　まこと我が命常ならめやも

万葉集に造詣の深い方がおられましたら、是非歌の解説をお願いします。

鳥シリーズ　9月号　小田久美子
「 鳶 と 烏天狗 」

7/19(火)、鞍馬寺から貴船神社へのハイキングに久し振りに夫婦で参加しました。スタート前に川井顧問から牛若丸や天狗のお話がありました。鞍馬山で牛若が天狗に剣術を習ったお話は私たち世代には懐かしいエピソ.ードですね。私は鞍馬寺の伝承は否定出来ませんが、他方天狗は鳶だった説がありますとお話をしました。スタート前に長話はいけないのでそれだけで切り上げましたので、その続きをここでお話ししたいと思います。私は浮世絵の大フアン、中でも歌川国芳は大好きベスト３に入る人です。神戸で、ボストン美術館が開催され、7/5「俺たちの国芳 わたしたちの国貞展」を観に行き、三度目の烏天狗の絵に逢って来ました。

「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」は、讃岐院（崇徳上皇）が、牛若（後の義経）の叔父、源為朝を助ける為に眷属の烏天狗を派遣するというお話を、三枚繋がりの大スペクタル大画面にしたものです。(崇徳上皇は保元の乱で破れ淡路島に流された。朝廷から写経を突き返されたので、天下の大魔縁になると云って憤死したと言われる)

烏天狗は淡い白で効果的に色を抜いて刷り上げています。その天狗は、修験者の姿で、鼻は鳥の嘴、後ろに羽根を付けています。

「讃岐院眷属をして為朝を救ふ図」yahoo より

H19 年 10 月号の、「我はれきとしたワシタカの仲間トビ」の中で「伊吹の鉄五郎」という絵と共にトビのお話を載せました。トビはかっこ悪いと清少納言にも馬鹿にされています。会報を保存している方はもう一度読んでみて下さい。

一方神武東征では金の鳶として「金鵄勲章」のモデルになった鳥でもあります。

１５周年記念　一泊研修バス旅行（予告）
錦秋の美作・西播磨の自然と文化を訪ねて！

『加西ﾌﾗﾜｰｾﾝﾀｰ』、『岡山県立森林公園』など、記念事業一泊研修旅行は兵庫・岡山県山間です。

10 月 18 日(火) ①『兵庫県立フラワーセンター』・加西市にあり約 46ha におよぶ自然林を生かした全国有数の花の公園で、南国ムードあふれる大温室ではベゴニア・ストレプトカーパス・食虫植物は国内で有数のコレクションを誇っている。

②美作三湯（湯原、湯郷）の一つ、奥津温泉を訪れます。温泉施設「花美人の里」でコンサートのできる素敵な木造ホールで昼食をいただきます。

③『岡山県立森林公園』・苫田郡鏡野町の奥深い山の中、標高 1000m、面積 334ha 甲子園の 90 倍、水源の森 100 選、森林浴の森 100 選に選ばれた園内を北展望台(900m)までガイドツアーで自然観察を２時間予定しています。

④『ひるぜんワイン』・小規模な山葡萄のワイナリーですが、製造現場を見て苦労話など、いろいろ聴けます。(試飲可)

⑤宿泊は、大山隠岐国立公園にある広大なリゾート感たっぷりの『休暇村蒜山高原』、天然ラドン温泉で大浴場からは、蒜山三座のパノラマや牧場風景を眺めることができます。翌朝に爽やかな高原を散策できる時間をとっています。

10 月 19 日(水) ①『塩釜の冷泉』60 ㎡程の瓢箪池から毎秒 300ℓの冷泉 11℃が湧き出ています。

②真庭市勝山 町並み保存地区の散策、御前酒蔵元で試飲、「レストラン西蔵」で昼食

③佐用町にある　陰陽師の里　乙大木谷の棚田(日本棚田 100 選)を高台から眺めます。

④宿場町平福の町並み散策、利神山(373m)頂きに利神城址・宮本武蔵の初決闘の場所などあり。

- **実施日；10 月 18 日（火）～19 日（水）**
- **集　合；近鉄大和西大寺駅南口 8：00 (予定)**
- **会　費；￥25,000 円**
- **担　当；鈴木、冨井、小島、青木(幸)、田矢**

≪申込み≫　冨井にお申し込みください。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

（田矢恵造）

「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！①」

Green Gift プロジェクト　イベント実施報告

イベント開催となればいつも気掛かりなのがその日の空模様。今回は、1週間ほど前に気象庁より梅雨明け宣言が出され、雨の心配は無くなったものの、今度は子供達の熱中症が心配。対策として新たに大型扇風機を2基設置し、水分補給にも万全を期しました。

そんな中、恐らく子供達にとって待ちに待った夏休み最初の屋外型イベントが、「ならやまベースキャンプ」にて華々しく開催されました。

【朝の集合写真でエイ・エイ・オー！】

当日の参加者は、子供42名、大人36名、来賓3名、私達会員スタッフ44名の総勢125名。

集合写真では、「さて、これから何が始まるのだろう？」と期待に胸を膨らませ、やる気満々で全員で鬨の声「エイ・エイ・オー！」の大唱和。

午前中は、飯盒炊さんとカレー作り。心配顔で見守るお母さん達の姿を横目に、初めてのジャガイモの皮むきに挑戦し満更でもない様子の幼い子、これまた初めて火をおこしたと興奮気味に語るお兄ちゃん、周りに気配りする女の子、どの子の表情も生き生きして、目が輝いていました。

【火をおこし飯盒炊さん】【ジャガイモの皮むき】

当然、自分達で作ったカレーの味はまた格別。「飯盒炊さんでこんなにおいしいご飯が炊けるなんて」と、お母さん、お父さん達からも感嘆の声。

食事の後は、みんなで後片付け。こちらの方もテキパキ楽しそうにみんなで協力してやってくれました。

【自前のカレーを賞味】　【皆で楽しくお片付け】

昼からは、3つのグループに分かれ、昆虫採集、池の観察、自然工作と続きます。

ビオ・トープではお池の生き物の説明をみんな真剣なまなざしで聞いてくれました。その後、網を使って池の生き物の観察。普段あまり顔を見せないドジョウも呆気なく御用となりました。

昆虫採集では、バッタやトンボをたくさん捕まえ、「こんなに採れたの初めて」と大満足。極めつけは、私達もこれまで「ならやま」で目にしたことの無かったタマムシを捕まえた子がいた事。

タマムシには気の毒ですが、そんな自然が守られている事を知り私達も改めて「ならやまの自然」を誇らしく感じました。

【ビオ・トープで説明を聞く】　【昆虫採集】

自然工作では、「ならやま」の竹を使ってみんなでカスタネット作り。思い思いに絵を施し、マイ・カスタネットの出来上がり。小さな芸術家の腕前に舌を巻きました。

何週間も前から、企画を立て、準備に余念なく本番に備えてくれた担当幹事の皆さま、それをしっかりサポートしてくれた会員の皆さま、本当にお疲れ様でした。有難うございました。

（辻本信一）

7月・歴文研修会

「高見川流域から宮瀧遺跡」吉野の歴史を訪ねて

7月25日（月）参加者は27名。バスは桜井から37号線を南下して吉野川に出会う。この辺りが「宮瀧」の集落である。車中で川井さんは、「十津川村は、南朝や天誅組に加勢した、日本で最も勤王の志が篤い土地といわれている。」と、思い入れのある話をされた。

「吉野歴史資料館」を訪れた。パネルの説明によると、ここで縄文・弥生時代の土器が発掘されたが、稲の穂摘みの石包丁が出土せず弥生時代になっても稲作の形跡がない。その為か後期には、人々はこの地を離れたという。飛鳥時代に斉明天皇が造営した「吉野宮」の遺構が、その隣に奈良時代に聖武天皇が造った「吉野離宮」の建物跡が発掘された。遺構は埋め戻されて、石碑と説明板のみが建っており発掘の面影は見られない。吉野宮は大海人皇子が壬申の乱で蜂起した場所である。

吉野は大塔宮護良親王が討幕に立ち上り、後醍醐天皇は足利尊氏の反乱を逃れて南朝を樹立している。「歌書よりも軍書に悲し吉野山」と詠われた。

柴橋の展望台から遺跡の横を流れる吉野川を見下ろす。上流の大滝ダムの流量調整で水量が少なく、万葉集や懐風藻に詠われた「千尋の素涛、落ち激る滝、水滾（たぎ）る渓谷」は想像できない。

「森と水の源流館」を見学する。ここ川上村は吉野川源流の三之公谷原生林740㌶を買い取り、「水源地の森」として守り育てる活動の拠点となっている。青空が拡がり始めた。ここで昼食。

高台に移設された「丹生川上神社上社」を訪ねる。「西の大滝、東の八ッ場」とずさんな公共工事の象徴とされた「大滝ダム」。水没前の発掘調査で本殿基壇の下から縄文から弥生時代に及ぶ環状列石が確認された。「宮の平遺跡」である。この場所には、奈良時代に祭祀に関わる集石遺構が造られ、江戸時代まで社殿の造営など約6回の改築が行われた。

763年に続日本記に記された「丹生川上神社」は上社であろう。初見から応仁の乱の頃まで、祈雨止雨の神として書物に記載されている。

本殿前には狛犬の代わりに躍動感のある2頭の銅馬が侍り、本殿内には祈雨止雨を願う絵馬が掲げられている。絵馬は生きた馬の代わりに馬の絵を奉納したのを語源とする。

次に高見川を遡り、鷲家で散った天誅組義士と彦根藩士の菩提寺「宝泉寺」に立ち寄った。
境内で川井さんは、王政復古を目指し討幕に立ち上がりながら、たった1日で逆賊となった悲劇の天誅義士について熱く語られた。この地で倒れた義士たちは湯の谷墓地に埋葬され、宝泉寺などの地元の寺で、村人によって篤く供養されている。

さらに上流の「丹生川上神社中社」に参拝する。日本書紀や続記には雨乞いの神として記載あり、国家レベルの祈雨の祭祀の場所となっていた。樹齢千年の杉の巨樹が直立する境内には厳かな雰囲気が漂っている。緑陰に鎮座する社には水の神「罔象女神」が祀られている。社の周辺にはヤマユリ（吉野百合）が芳香を放ち、ツクバネの花、ツルマンリョウも見られた。

吉野は天皇や大宮人にとってどのような場所だったのであろうか。応神天皇以来、雄略、斉明、天武、持統、元正、聖武の各朝に亘って度々の行幸があり、中でも持統は32回も訪問している。恒久的な宮や離宮を造っていたと思われる。

「万葉集」や漢詩集「懐風藻」などの歌には吉野を褒め称え、山紫水明・風光明媚な吉野の風土を、神仙境と歌いあげている。天皇にとっては祈雨止雨の祭祀は重要な責務であり、随行の大宮人にとっては憧れの地であったに違いない。

「やはた温泉」で汗を流し、アユの塩焼きと生ビール、絶妙の取り合わせで至福の時間を楽しみ帰途についた。俳句の聖地「原石鼎庵」を見過ごしてしまい、残念ながら立ち寄れなかった。

「岩藻みな立ちて揺れ居る清水かな」（原石鼎）

歴文クラブ　中井弘

８月　月例研修会
草津水生植物公園と琵琶湖博物館の見学

８月３日(水)。参加者２１名。マイクロバスにて出発。バスの中では、琵琶湖に関連する予備知識をクイズ形式で説明した。

「草津市立水生植物園」で小山さんとボランティアガイドさんとに合流し、施設見学に入った。

今回の案内担当の小山さんは草津市在住で、施設の下見では何度も足を運んでもらいました。

行く前に予め聞いていたが、この時期、公園前の水辺には咲き乱れるハスの花が見られるのだが、今年はそれが全く見られなかったのが残念でした。

園内で蓮や睡蓮を観賞し、ロータス館で映像を見た後、ボランティアガイドさんの案内で温室に入る。朝の光を浴びて、赤・ピンク・白・黄・青・紫など幾種類もの睡蓮が咲き誇る。花びらは昼過ぎまで咲き、夕方から夜は花を閉じ、３日後には散るという。

汚れた泥の中から清らかな花を咲かせる蓮と睡蓮。しかし、蓮(ハス)の原産地はインド、睡蓮（スイレン）の原産地はエジプトで、この２つは似ているけれども、別の種類の抽水植物だということだ。

仏教でお釈迦さんの台座には「蓮（ハス)」が描かれているが、お経の言葉では、「白蓮華」「青蓮華」「黄蓮華」とかの「睡蓮（スイレン)」を示す言葉が使われて伝わってきている。なぜか。ここを訪れてこの理由がはっきりと解った。

お釈迦さんが生きておられた紀元前６世紀のインドでは、インド古来の蓮（ハス）もエジプト原産の「睡蓮（スイレン）も同じ種類のものとみられたようだ。ところが、仏教が中国に伝来する時に、蓮はレンコンとして砂漠を超えて中国に持って行けたが、睡蓮は根っ子なので砂漠を超えられなかったのだ。

睡蓮はヨーロッパに伝わり、蓮は *Lotus* と呼ばれ、睡蓮はそれと区別して *Water lily* と呼ばれた。

昼食はほとんどの方が弁当持参だったが、数名の方が博物館内のレストランでとられ、ブラックバスの天丼は、臭みがなく淡白でほんのりと甘みを感じる一品だったとのことでした。

「琵琶湖博物館」は、本年７月 14 日にＣ展示室と淡水水族展示室がリニューアルオープンした。

Ａ展示室では、400 万年前に出来た琵琶湖が北へ移動し、水枯れ湖になった時期を経て、比良山にぶつかり今の姿になった変遷がよく理解できた。

また、300 万年前の地層から発見された恐竜の化石やゾウ歯の化石や復元された巨大象の標本もあり興味深く見ることができた。

Ｂ展示室では、世界最大の淡水貝塚のはぎとりや江戸時代湖上交通の主役だった復元した丸子舟、などの展示が見られた。

Ｃ展示室では、ヨシ原に分け入った時の世界を体験できる展示などもあった。

リニューアル工事で大変充実したと感じられたのは日本最大級の淡水の水族展示室でした。

ビワコオオナマズの水槽は大きくて、湖底から水面をながめているようでした。その他、ビワマス、イチモンジタナゴ、ゲンゴロウブナなど 80 種以上の淡水魚の泳ぐ姿が見られた。

また、世界で最古の湖のバイカル湖のバイカルアザラシ２頭も愛嬌のある姿を見せてくれていた。

さらに、沢山並べられた顕微鏡で観察できる部屋もあり、見学に来た小学生たちが熱心に見ている姿が目についた。

今思うこと…　“夏以外の季節にもう一度訪れて、水族展示室をゆっくりと見て回り、ブラックバスの天丼を食べたいな”

（記：羽尻嵩）

やさしい病害虫講座　26

「密かに仲間入り」

木村　裕

夏の花の代表選手の一つとされているヒマワリ、頑丈そうであるにも関わらず、葉が黄変→褐変して枯れて早々と店じまいをするのが散見されますが、原因は分かりますか？

葉の被害と成虫

原因は**アワダチソウグンバイ**と称する小さな虫が汁を吸ったために起こりました。葉の色が悪くなった部分をよく見てください。長さ３ミリ前後、半透明で茶色の横縞が入った虫が寄り集まっているのが分かります。カメムシ一家に属しており、尖った口ばしを葉に突き刺して汁を吸うのでその部分はカスリ状に色が抜けて黄色の斑紋になります。また、お尻からコールタールのような黒い粘液を排出するため、被害部には転々と黒いヤニが付着するのが特徴です。これは成虫で幼虫は褐色の虫で数十からなる集団をつくります。

軍配型をした成虫

この仲間の虫は、羽を折り畳むと相撲の行司さんが持っている軍配のような形になることから**グンバイムシ**と名づけられています。

この虫は７～8年前に海外から密入国した新参者ですが、すでにセイタカアワダチソウ、ヒマワリ、キク、ジニア、メランポディウム、シロクジャク､アザミなどのキク科の多くの植物に寄生し、とくにヒマワリとシロクジャクに大きな被害を与えています。

幼虫集団と黒い排泄物

ヘクソカズラの葉が白っぽくなるのは**ヘクソカズラグンバイムシ**が犯人で、ほぼ同じ時期に海外からやってきました。また、数年前にはプラタナスの葉裏につくグンバイムシもやってきました。

グンバイムシの仲間はこのように餌場が決まっており、決して他の仲間とは争わないよう取り決めがされているようです。日本に昔からいるのは、ツツジにつく**ツツジグンバイ**、サクラやボケにつくナシグンバイ、アセビにつく**トサカグンバイ**などです。

ツツジグンバイの被害

隠れ古社寺　ひとり旅 (22)

御厨子(みずし)観音と身替り観音

歴史文化クラブ
川井秀夫

お盆のさ中、二つの観音様を訪ねる。観音とは観世音菩薩のこと。八月の猛暑日が続くなか、勇を鼓して出かけてみた。

1　御厨子観音

近鉄　大福駅から南へ２０分、田園地帯に囲まれた香久山東麓の高台に今年３月、歴文例会でパスした小寺である。門前から望む広大な地は磐余池の跡とされ、門前に大津皇子の歌碑に往時が偲ばれる。¨ももづたふ磐余の池に鳴く鴨を今日のみ見てや雲隠りなむ¨

寺伝によれば奈良時代の学者　吉備真備が遣唐使として留学した際、「邪馬台の詩」と言う難解な漢詩を観音様の化身となったクモの導きで読めたり、囲碁の対局で見事に勝ったり、帰国後、観音様への報恩のため、我が子「善覚」に命じて観音堂を創建したとある。

本堂には四面開きの厨子があり正面、側面、背面に開く優美なもの、直接拝観は出来なかったが、小窓からの印象は本尊の十一面観音像の輝く様なお姿がひと際眩しく見えた。

「みずし」とは、磐余池の尻にあったことから「水尻」が転化したとか、珍しい厨子に本尊が祀られているとか、二説あるようだ。

お盆の頃とて墓詣での家族連れをほほえましくみながら帰路につく。

2　身替り観音

大福から府境に近い関屋駅へ転進。三十年前友人の葬儀に降り立って二度目、駅舎がリニューアルされて吃驚。ここへ来たのも、７月歴文の吉野探訪の際、南北朝の忠臣　楠木正成の説話を縁にゆかりの寺を訪ねた次第。１６５号線を西へ１５分。小高い丘に燈籠を拡大した様な山門が見える。禅宗のお寺によく見る姿だが標柱には真言宗　鳥嶽山　観音寺とある。本尊は千手観音菩薩。この仏像にまつわる伝承ばなしが面白い。

１３３１年。正成は赤坂城の戦いに敗れ、この地に逃れるが、眠りに落ちて夢をみる。

夢の中に観音菩薩が現れ「あすの合戦にお前は敵の矢に命を落とすだろう。しかしお前が私を信じれば一命を助けよう」と消え去る。夢は現実の出来事となり、左乳脇に矢を受けるが傷口から一滴の血も流れず痛みもない。ふと見るとお守りに矢が当っている。早速観音堂へ行くと、菩薩の脇腹から血がながれ、倒れていたと言う。

以来、矢除け観音の異名があり厄除け・交通安全の参拝客が多い。お粗末の一席。

西大寺の立ち呑み処で生ビール。熱中症にならずご苦労さん。

腸(はらわた)に一直線の生ビール　　秀夫

俳句百景

監修　川井　秀夫

名物のびわ湖の蓮もお冠　小山喜与男

8月例研。草津水生植物園。蓮の群生が壊滅状態。原因不明。蓮の不機嫌も担当幹事の作者もお冠。

あなうれし今年も庭に蝉便り　小山喜与男

梅雨明けの蝉の声に夏来るの実感がある。自然の声季節の感慨を知る。うるさいと言う輩と人物が違う。

麻のれん藍（あい）の鯰（なまず）がおどり出る　西谷　範子

「麻」が季語。我が家の厨房の暖簾が揺れる。絵柄の鯰が躍りだす空想感。「鯰」が実に面白い。

打水のとくとくの風われに来て　西谷　範子

「打水」が季語。「とくとく」小さいものから流れ出る状態の形容詞。この場所にふく涼風は私のものよ。

干す梅の庭に散らして華となる　八木　順一

何百の干し梅が並ぶと正にそれは華。梅は季節を跨いで季語となる。作者の感性が広がりを見せる。

風死して一段と増す熱帯夜　八木　順一

「風死す」は俳句的用言。風の無い、風止まる　などの意。この夏は殊のほか暑い。自然のサウナと思えば腹は立たないか。

列島も茹で上がりたりトマト熟る　八木　順一

旱魃の夏。異常気象が列島を覆う。もの言わない作物も必死の形相。我が家のトマトも怒り心頭の色。

雷鳴の主は今夜も肩すかし　古川　祐司

遠雷に手を合わす。この旱天いつまで続くの、雨よ雨よの思い。作物よ、水やりも行かずゴメン。これは私の述懐。

絶唱の蝉を見上げる蛻（もぬけ）かな　古川　祐司

「蛻」と「蝉」の対照の妙。人間の目を喩えに「蛻」が良い。空蝉から脱皮した短い命の叫びに万感の思いが募る。

陰（かげ）に入る小さな秋の風通る　桜木　晴代

残暑のさ中、ふと秋の訪れを感じる事がある。それは、風・雲・光・であろう。もう秋が近い。

里山に槌音ひびく道普請　桜木　晴代

里山の工作隊。安全第一に今日も乾いた槌音が快い。季語が無いが「池普請」の季語に準じて頂いた。

宮瀧の古代を偲ぶ夏の峰　坂東　久平

7月歴文例会。宮瀧遺跡を探訪。深山幽谷に囲まれ吉野宮の上代を偲ぶ。吉野連山の雄姿が印象的。

蓮の群れなくて寂しきびわ湖畔　坂東　久平

8月例研。お目当ての蓮池に花なし。残念。自然は自然。人間の期待を裏切ることもありまっせ。

地球儀のうらも朱夏（しゅか）なりリオ真っ赤　川井　秀夫

リオは只今冬。日中は30℃を超える。アスリートの熱い戦い。日本のメダルラッシュに日の丸も一段と真っ赤。

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず

活　動　予　定　日

9月	1（木）　8（木）　15（木） 22（木）　29（木）
10月	6（木）　13（木）　20（木） 27（木）

◆場所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約 20 haの里山林地（県有林）

◆ **集　　合：現地ベースキャンプ地・午前９時**

◆ **終了予定：午後３時**

◆アクセス

① ＪＲ平城山駅下車：東口から南へ徒歩 10 分

② 近鉄奈良駅：バス１３番乗り場　115 系統

８：２８発、高の原行き　（平日）

③ 近鉄高の原駅：バス１番乗り場　115 系統

８：３６発ＪＲ奈良駅西口行き（平日）

②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車

徒歩７分

◆ 携行品など：弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地で用意）

◆ 環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参下さい。

◆ 連絡先：八木 順一

里　山　Gr

９／１　協働作業の日

林野庁/里山林整備作業／薪割リ

南側部分皆伐地区整備

８

林野庁/里山林整備作業／薪割リ

南側部分皆伐地区整備

１５　２２　２９

林野庁/里山林整備作業／薪割リ

エコファーム Gr

９／１　協働作業の日

ニンニク畝作り／各種野菜畑の畝作り

８

大根種まき(YR くらま聖護院丸大根、日野菜、小カブ紅心大根)

１５

大根種まき（ＹＲくらま）

漬物用大根、ニンニク植え付け

２２

タマネギ、水菜、壬生菜、大和マナ、菜花

チンゲン菜、レタス、種まき

２９

ほうれん草、春菊、種まき

タマネギ植え付け、畝の整備

景　観　Gr

９／１　協働作業の日

整備　佐保自然の森、彩の森、南瓜畑　そば播種

ビオ　池の整備

パト　観察路周辺の草刈り

花　　オニユリ種まき、菊・アジサイの施肥

８　整備　彩の森草刈り

ビオ　西池生物調査

パト　観察路周辺の草刈り

花　　紫式部移植、山野草園草取り・名札つけ

１５　整備　彩の森草刈り

ビオ　池の整備

パト　丸太階段補修

花　　ｼﾞｬｰﾏﾝｱｲﾘｽ園草取り、矮性コスモス施肥

２２　整備　第五地区草刈り

ビオ　西池生物調査

パト　丸太階段補修

花　　椿等移植、柵作り（山野草園）

２９

整備　第五地区草刈り

ビオ　池の整備

パト　案内看板銘板のメンテナンス

花　　紫花菜種まき、斑入りシャガ移植

行事案内 part 1

自然教室チームだより

９月の自然観察会
矢田丘陵の秋の植物観察

今年も御宮知伸彦さんに大和民俗公園近辺の秋の植物観察を指導していただきます。多彩でびっくりするような自然観察を今年も楽しみましょう。

自然に関心のある方なら、どなたでも楽しんでいただけると思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

◎　日時：9 月 20 日（火）9 時～14 時
（注）サマータイムで実施しますが、
終了時間が延びる可能性もあります。

◎　集合場所：大和郡山市立　少年自然の家
（里山の駅 風とんぼ）入口近辺
（〒639-1058 大和郡山市矢田町 574）
＊県立大和民俗公園駐車場から更に 300m ほど進んだところ

◎　持参するもの:食事､飲み物(多い目に用意)、雨具、筆記用具、あれば図鑑とルーペ

◎　アクセス：奈良交通バス（72 系統）で
矢田東山下車　徒歩 20 分
＊近鉄郡山駅から JR 小泉駅東口行
…8 時 05 分、25 分　(乗車 12 分)
＊JR 小泉駅東口から近鉄郡山駅行
…8 時 00 分、15 分　(乗車 17 分)
＊車の場合は自然の家の前の駐車場、
または大和民俗公園駐車場を使用

◎　**雨天の場合の判断：前日 19 時前の NHK 天気予報で降水確率 60%以上は中止**
＊20日中止の場合は21日に延期して実施

◎ 担当：辻本
倉田

９月歴文研修会ご案内
「南山城の歴史探訪」

～継体天皇の足跡・山城一揆の伝承と名刹鑑賞～

残暑も予想されますが、初秋の風に吹かれ、南山城の地を木津川沿いに辿り、継体天皇即位の樟葉宮を訪ねます。

「山城」は上代においては京・乙訓から木津川流域の現・京田辺市、城陽市、木津川市を指し、時代の変遷の中で幾多の伝承物語を有し、神社仏閣・古墳など遺跡が散在する。山背古道を官道として平安京・平城京の文物の交流にも重要な役割を果たした奈良の隣国と言える。

時代を検証し、今に伝わる歴史の重みを楽しみながら研修の一日を過ごしたいと思います。多数のご参加をお待ちいたします。

1 日　時：9 月 19 日（祝・月）雨天決行
2 場　所：南山城　歴史探訪
3 集　合：近鉄　大和西大寺駅　南口
AM　８：２０分　チャーターバス利用
4 参加費：３０００円（バス代金）
普賢寺　拝観料　300 円　別途徴収
5 コース：西大寺駅～祝園神社～湧出宮～咋岡神社～同志社キャンパス（筒城宮跡・下司古墳群）「学食にて昼食」～息長普賢寺～大住車塚古墳～樟葉宮～西大寺駅　帰着　4:00 頃
6 申し込み：事務局　古川　祐司まで

7 担当：　古川・川井・弓場・八木・藤田

筒城宮跡

行事案内 part２

９月　月例研修会のご案内
大阪史跡上町台地探訪

～「真田丸」ゆかりの地などを歩く～

大阪、上町台地は、大阪平野を南北に伸びる丘陵地で、中央区の大阪城付近から天王寺区・阿倍野区を経て南部の住吉区住吉神社まで続きます。この台地は大阪の歴史の発祥地であり、様々な史跡・名所があります。今回、現在ＮＨＫ大河ドラマで人気の「真田丸」ゆかりの場所もある天王寺界隈を、大阪市出身の川井さんのご案内で探訪いたします。

①「生國魂（いくたま）神社」－2700 年前、神武天皇が国土の神を祀ったと言われる広大な神社。伊勢神宮より歴史は古い。②「天王寺七坂界隈」有名な源聖寺坂や口縄坂があり、付近には由緒ある寺が多い。③「愛染堂」－映画で有名な愛染かつらの木がある。④「安居神社」－幸村最期の地。「真田幸村戦死跡の碑」の銅像。⑤四天王寺－聖徳太子が物部氏と蘇我氏の合戦の際に、勝利を祈願し約束して建立した寺院。⑥天王寺公園（茶臼山－家康、幸村の激戦地跡。冬の陣では徳川家康が、夏の陣では真田幸村が本陣を構えた。慶沢園－住友家の美しい日本庭園）

大阪の史跡を探訪してみませんか。

1 実施日：**９月３０日（金）**（26→30 日に変更しましたのでご注意ください）**＊小雨決行**
2 集　合：近鉄上本町駅　地上改札口前 9:30
（近鉄難波線ホームは地下３階です、エスカレーターで地上階へ上ってください）
3 行　程：近鉄上本町駅－生國魂神社－天王寺七坂界隈（源聖寺坂－口縄坂等）－愛染堂－安居神社－四天王寺－天王寺公園（茶臼山－慶沢園）－近鉄天王寺駅
4 持参品：お弁当　飲み物　雨具
5 担　当：川井秀夫　田中克彦　山本妙子
（田中克彦）

10 月ならやま活動&行事予告

＊ならやま活動
10 月 6 日(木)　協働作業の日
10 月 15 日(土)　佐保台小学校芋掘りイベント
10 月 22 日(土)　会員家族　芋掘りイベント
＊月例研修会（会発足 15 周年記念バス旅行）
10 月 18 日（火）～19 日（水）
詳細は７ページをごらんください。
＊自然教室チーム
10 月 24 日(月)　秋のならやま自然観察会
＊歴史文化クラブ
10 月　休み

北側部分皆伐地の下草刈り
「協働作業の日」気温 36 度！水分補給が追っつかない。熱中症に気を付けて！！

猛烈な暑さ！汗を滴らせ新しい階段造り
サマータイムでよかった！！

平成２８年・８月度幹事会報告

日時: 平成 28 年 7 月 26 日(火)17 時～19 時
場所: 奈良市中部公民館 2F 学習室
出席者: 顧問・幹事 23 名（欠席者：なし）

議事:

Ⅰ.会長挨拶

Ⅱ.会計・事務局報告

① 会員数 151 名（前月より変わらず）
② アドバイザー、メンバー確定
③ アダプトプログラム推進事業 8 月 4 日始動
④ 会計報告：6 月度収支報告

Ⅲ.活動・行事関係、課題・懸案・確認事項

1. 3 ヶ月スケジュール、当月スケジュール確認
自然教室・10 月度自然観察会は 24 日に変更

2.ならやまプロジェクト：
配布資料に基づき説明（会報記事参照）

3.活動報告と予告：
① 月例研修会：(会報記事参照)
② 自然教室：佐保台小昆虫観察会 9 月 7 日実施
③ 歴文研修：7/25 吉野歴史探索は参加者 27 名

4. イベント（報告と予告）：
① 7/18 山もり・てんこ森、7/23GG イベント①：いずれも盛況であった。(会報記事参照)
② 8/20 GG イベント②：担当は、小島、竹本、上西の 3 幹事、執行部、事務局が支援する。

Ⅳ.広報関係: ネイチャーなら 9 月号編集内容確認
「15 周年記念誌」進捗状況説明

Ⅴ.周年行事：

① 記念事業委員会より：里山 G、エコファーム G、景観 G にそれぞれ企画検討のお願い
② 記念講演会・レセプション：講師・来賓を迎え来年 1 月 22 日式典開催を予定。

Ⅶ.提案事項・その他

ジュズダマ育成のため現在の生育地を会員に周知徹底する。

次回幹事会は 8 月 30 日(火)午後 2 時中部公民館

以上

◇ 申し合わせ ◇

＊通常活動日【木曜日】や屋外のイベントは、前日19時前のNHKの天気予報で、当該地域の午前の降水確率が60%以上の場合、中止とします。
＊通常活動日が中止になった場合は、翌日【金曜日】を振替活動日とします。
奈良県北部の降水確率は次のURLでも確認可能です。(http://www.jma.go.jp/jp/yoho/335.html)
＊臨時活動日を月曜日にする事があります。
（事前に担当役員から連絡します。）

◆盛夏８月

オリンピック、高校野球、ならやまＧＧイベント、墓参り、孫達の帰省など、盛り沢山の８月でした。

昨年６月から、質実剛健で簡潔な会報誌作成を目標に編集を進めています。多くの会員の方に誌面参加をして頂きたいと考え、「里山の今」や「字遊字感」の執筆をお願いして参りました。

その成果は見事で、８月号までの１年間の執筆者数を比較したところ、昨年から今年は、３３名から５４名に増えていました。（６３%増加）

（これからも皆様のご協力をお願いします）

ＨＰをリニュウアルしました。表紙のページから、活動計画（スケジュール表など）、最新会報誌、活動の記録（アルバム）へ行く「ボタン」を作りました。（お試しあれ）

（行々子）

会報誌〔ネイチャーなら〕・第176号

発行：奈良・人と自然の会
会長　鈴　木　末　一
http://www.naranature.com
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇
編集チーム代表：坂東久平